

大雨警戒レベルが変更

新しい基準では、高齢者や障がいのある方など避難に時間がかかる方が避難する時点がレベル3に引き下げられました。警戒レベル4までには必ず全員が避難する必要があります。

警戒レベル	とるべき行動
5	緊急安全確保 命を守るための最善の行動をとる。
4	避難指示 全員避難する。
3	高齢者等避難開始 避難に時間がかかる人は避難する。
2	避難に備え、ハザードマップ等により避難行動を確認する。
1	気象情報等の最新情報に注意し、災害への心構えを高める。



防災安全課 防災安全専門員
かっ さい よし のり
葛西宣則

私が自衛隊員として過ごした昭和50年代と平成20年代を比べると、災害派遣が倍以上に増えたと感じます。以前は、災害派遣を必要としない規模でしたが、今は一線を越える災害が多く発生しています。災害派遣で被災者を目の当たりにすると、いつも「もっと早くに避難してくれていたら…」と避難の重要性を痛感します。人間は予期せぬ事態が発生する

と、「私は大丈夫」「この地域は今まで被害がないから平気」などと自分を安心させるために都合よく考えってしまう「正常性バイアス」が働きます。この影響で避難が遅れ、取り返しのつかない状況になってしまうことがあります。また、令和元年東日本台風時の町内の避難者を分析した結果、避難者は20〜30代で子どもがいる方や50〜60代で高齢の親がいる方が

Interview

災害は全員に等しく起る

自衛隊出身で災害派遣の経験もある葛西宣則防災安全専門員に避難の心得を聞きました。

多かった一方で、独り身の方や子どもや高齢者のいない世帯の方の避難者は少数でした。避難時に不安要素がある方は避難の判断が早く、そうでない方は避難の判断が遅い、または避難行動をしない方が多いのかもしれない。災害は全員に等しく起ります。「私は大丈夫」と過信せず、避難行動に移してほしいです。



特集 水害に備える

近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、短時間強雨や降水量の増大などが頻発化・激甚化してきており、大規模な水害発生への懸念が高まっています。先月も記録的大雨が降り、熱海市では大規模な土砂災害が発生、県内の平塚市でも避難情報のうち最も高い警戒レベル5が発令されました。水害大国日本。命を守るためにどんな行動が必要でしょうか。令和元年東日本台風時の町の状況や自身の行動を振り返り、水害に備えましょう。

令和元年東日本台風 (台風19号)

大雨により、全国各地で川の氾濫や堤防の決壊、土砂災害が発生した。被害は、死者104名、負傷者384名、行方不明者3名に上った。幸いにも開成町では人的な被害がなかったものの、たった2日間で1か月分の降水量を超え、酒匂川沿いにある開成水辺スポーツ公園が冠水した。

問 防災安全課 ☎ 84-0326

令和元年台風19号 24時間の記録

10月12日

- 7時05分 大雨警報発令
- 7時40分 警戒対策本部設置
- 8時00分 町全職員が警戒態勢で待機
- 9時00分 広域避難所開設
- 9時28分 洪水・暴風警報発令
- 13時30分 災害対策本部設置
- 16時00分 十文字橋閉鎖
- 16時00分 町内初の警戒レベル3を発令
- 16時00分 開成水辺スポーツ公園冠水



▲公園全体が冠水した



▲開成南小学校避難者が318名に到達



▲水路の調整をする職員

10月13日

- 21時00分 酒匂川最大水位到達
- 23時05分 三保ダム最大放流量到達
- 23時21分 災害対策本部解散
- 3時37分 暴風警報解除
- 3時00分 大雨・洪水警報解除
- 13時00分 町民ボランティアによる開成水辺スポーツ公園の復旧作業

避難者INTERVIEW

酒匂川が氾濫しないか不安で、情報を得ることに必死でした。避難所に行くか迷いましたが、子どもが小さいこともあり、避難することを決断しました。この経験を教訓に、定期的に家族でハザードマップの確認や備蓄品の管理をするようにしています。



みずの さつき
水野 咲穂香さん(下島)